

中学校区におけるめざす子ども像  
失敗を恐れずに自分で考えて決断できる子

令和8年度 重点目標  
子どもがつくる学校「みんなのとみなみ」  
・子どもが選ぶ・決める場面の創造 ・互いに尊重し、認め合い、助け合う学校

<p>確かな学びの現状</p> <p>確かな学び ○探究的な学びにおける課題設定研究をすすめる 年間を通じての研究授業の実施と日々の授業改善 自己の学びを「選択する」「決める」場面の設定。</p>	<p>「豊かな心・健やかな体」の現状</p> <p>○子どもが主体的に学校を良くしていこうとする 子ども主体の特別活動「とみ活」の推進。 ○互いに尊重し、認め合い、助け合える仲間づくりの推進 学年ごとに年間を通したなかまづくりの取り組みの実施。 ○子どもが主体的に取り組む運動月間</p>
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	「こたわられる」学びに子ども	探究的な学びにおける研究をすすめる。	年間を通じて、学年ごとに授業研究に取り組み、授業改善について学ぶ。	授業改善に向けて、ワークショップ型討議会を活用し学んだことを実践する。 校内研修の実施、外部講師を招待しての研修会の実施。	研究授業や研修会の実施	通年			
		子ども一人ひとりが自身の興味や課題に基づいた家庭学習をすすめる力の育成。	★年7回「マイチャレ週間」を設定し、家庭学習の内容を児童一人ひとりが決める。またマイチャレ交流会を実施し、友だちの学びを知ること、自身の学びに対する「見方」「考え方」を広げる。	自己決定に関するアンケートの肯定率で評価。80%以上がA,60%以上がB	学校アンケート(児童用・教員用)	2学期末			
		児童用端末を学習に活用とスキルの習得。	児童用端末活用システムを用いて、学校全体で授業の中の活用機会を設定する。	マイチャレに関するアンケートの肯定率で評価。80%以上がA,60%以上がB	Formsアンケート	2学期末			
				学校アンケートの肯定率で評価。80%以上がA,60%以上がB	学校アンケート(児童)	2学期末			
豊かな心・健やかな体	主体的に自己決定・協働できる子 体や心に關心を持つ子	子どもが主体的に学校を良くしていこうとする。	●★子ども主体の特別活動「とみ活」の推進。	とみ活での活動を振り返るアンケートを児童に実施。	生徒指導アンケート	毎学期			
		児童へのいじめ防止に関わる啓発活動と実態調査の実施。	道徳をはじめとする教科授業や特別活動の「集団活動」を通し、仲間づくりを進めると共に、生活アンケートでいじめの実態調査を行う。	・仲間づくりの実践報告 ・生活アンケート(年3回)での報告。	生活アンケート	毎学期			
		互いに尊重し、認め合い、助け合える仲間づくりの推進。	●学年ごとに仲間づくりの取り組みを進める。	仲間づくりに関する肯定率で評価。80%以上がA,60%以上がB	人権アンケート	1学期末 2学期末			
地域協働	信頼される学校	子どもが運動に主体的に取り組める環境づくりを行う。	●カリキュラムに基づいた運動月間を設け、子どもたちがより運動のおもしろさを実感し、楽しく取り組めるような環境づくりを行う。	学校アンケートの肯定率で評価。80%以上がA,60%以上がB	学校アンケート(児童)	2学期末			
		地域全体との連携を進め、地域協働による子どもの育成を図る。	自治会・PTA・子ども会と協働した取り組みを行うことで、地域との連携を深める。	学校アンケートの肯定率で評価。80%以上がA,60%以上がB	学校アンケート(教職員用)	2学期末			
			学校通信、HP等で学校の教育活動について地域に公開する。	学校アンケートの肯定率で評価。80%以上がA,60%以上がB	学校アンケート(教職員用) 学校通信、HPの記録	2学期末			
		★中学校区で「夏季研修会」「授業公開」を実施する。昨年度作成したランドデザインをもとに各部会で何ができるかを検討する。	夏季研修会で検討した内容をもとに各学校で取り組みをすすめる。年度末に各部会ごとにリフレクションする。	学校群で協議。	年度末				

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------